

令和5年度

三島小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○主体的に学習に取り組み、自分の思いや願いを豊かに表現できる児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長・総括	田上 善博
山本 美保		教頭・総括補佐	辻 宏明
		教務主任	西原 寛喜
		低学年推進員	高木 道子
		中学年推進員	塩田 さなえ
		高学年推進員	宇山 知恵美
		特別支援教育コーディネーター	吉田 美奈

校長

田上 善博

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告、授業公開等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や計算のドリル学習に真面目に取り組み、ある程度定着している。 ●学習した内容を、生活の中で適切に使うことに課題がある。 ●語彙が豊富でない。 ●文章を正確に読み取ることができない児童がいる。	・各学年で学習する漢字や計算等、基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 ・日記や作文の中で既習漢字を使う等、身につけた知識・技能を学習や生活の中で活用することができる。 ・文章を正確に読み取ることができる。	・ドリルタイムで既習内容の復習や小テストを行い、読み書き計算の力や語彙力を高める。 ・日記や作文の中で新出漢字や国語の教科書の索引にある言葉が使えたら、シールなどで賞賛する。 ・タブレットを使った授業を取り入れ、学習への意欲付けをする。 ・漢字や新しい語彙で言葉集めを行い、語彙カードを作成する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の思いや考えを素直に表現しようとする児童が多く、理由を示しながら表現できる児童も増えてきた。 ●考えの糸口が見つからなかったり、そもそも課題が理解できていなかったりする児童もいる。 ●話し合いによって考えを深めることが難しい。	・何が課題かを正確に理解し、解決に向けて、見通しをもって粘り強く考えることができる。 ・話す活動や書く活動の時に、根拠や理由を明らかにしながら自分の考えを表現できる。 ・友達の意見を聞いて自分の考えに生かすことができる。	・ペアやグループ学習を取り入れ、自分の思いや考えを表現できる場を増やす。 ・発言が少ない場合、ホワイトボードや付箋、タブレットを活用し、理由や根拠を書くようにさせる。 ・発表の仕方や聴き方の良いモデルを提示する。 ・学級会の時間を確保し、自分の考えの表現やお互いの意見のすり合わせをする経験を積ませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学校での学習や家庭学習に真面目に取り組むことができる児童が多い。 ○好きなことに主体的に取り組む、それを広げようとする児童が増えた。 ●学習に苦手意識があると、主体性が発揮できず、機械的になってしまう。 ●家庭での読書量が少ない。	・問題意識をもって学習に取り組むことができる。 ・学びの内容や方法を自己選択・自己決定することができる。 ・自分の学びを振り返り、学んだことを次に生かすことができる。 ・家庭でも学習や読書に取り組むことができる。	・課題設定の仕方を工夫し、児童にとって必然性のある学びとなるようにする。 ・学んだことを次学習に生かせるよう、キーワードを提示して振り返りを具体的に書かせるようにする。 ・月1回担任が選んだ本を「リレー家読し」、読書に興味を持てるよう働きかけをする。 ・読んだ本についてくらしの日記に書く。 ・朝活で本の読み聞かせやブックトークを取り入れる。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

